

『自転車指導啓発重点地区』（高松西署） 国分寺総合センター前交差点から半径2kmの範囲



出典：国土地理院発行地図
 出典：国土地理院発行衛星地図
 国土地理院の電子地図を加工して作成

【選定理由】

重点地区の中心は令和4年県内ワースト2位の交差点であり、同交差点を中心に自転車人身事故の発生も多い。また、同地区内は国道と3本の主要地方道が通り、官公署や学校、JRの駅、量販店等が点在し、様々な世代の自転車利用者が多い。

【国分寺町内自転車人身事故発生件数】

（2018～2022年の過去5年間）

76件〔重点地区内 66件（86.8%）〕

【重点地区でよく見られる違反形態】

- ・歩道での徐行や一時不停止
- ・信号無視違反
- ・指定場所一時不停止・踏切不停止違反等

【自転車利用時に特に注意すること】

- 1 歩道は歩行者優先！
 自転車が通行できる歩道でも、車道寄りをすぐに止まれる速度で走行し、歩行者が立ち止まったり、避けなければならない時は一時停止しましょう。
- 2 赤信号、一時停止場所では必ず止まる！
 ゆとりを持って出発し、無理せず焦らず一時停止と安全確認を徹底しましょう。

もちろん、乗車用ヘルメットを被りましょう！

『自転車指導啓発重点地区』（高松西署） ことでん綾川駅から半径1kmの範囲



❌ …自転車人身事故発生場所（過去10年間）

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R1JHs973

国土地理院の電子地図を加工して作成

【選定理由】

同地区内には、ことでん綾川駅やイオンモール綾川、綾川町役場といった、主要交通機関や大型量販店、公共機関等があり、自転車利用者が多く、自転車人身事故の発生件数も多い。

【綾川町内自転車人身事故発生件数】

（過去10年間）

115件〔内重点地区 34件（29.6%）〕

【同地区でよく見られる違反形態】

- ・信号無視違反
- ・指定場所一時不停止違反
- ・踏切不停止違反

【自転車利用時に特に注意すること】

- 1 赤信号、一時停止場所では必ず止まる！
ゆとりを持って出発し、無理せず焦らず一時停止しと安全確認を徹底しましょう。
- 2 全年齢層がヘルメットを着用！
本県過去3年間の自転車乗車中死者29人のうち、ヘルメットを着用していたのは1人のみで、非着用者4人に1人がヘルメットを着用していれば命は助かったものと考えられています。

